

令和元年度 栃木市広島平和記念式典中学生派遣報告会 (R1.8.29)

「おわりに」 奈良部心優 (皆川)

私は三日間の広島派遣で、改めて戦争の恐ろしさと平和の尊さを学ぶことができました。原爆については、テレビや事前学習でなんとなく知っているだけでした。しかし、実際に被害にあった建物を見たり、被爆した方のお話を聴いたりし、私の知らないことがたくさんあったことを知りました。資料館には、そのときの様子が分かる写真や物が展示してありました。私が思っていた以上の悲惨さ、残酷さで、昔日本で本当に起きたことだという事実が信じられませんでした。また、たった一つの原子爆弾で一気にたくさんの命が失われ、生き残られた方も、後遺症や差別によってとてもつらい思いをしたことを被爆された白石さんのお話で知りました。被爆者の方々の悲しみや苦しみを思うと胸が苦しくなりました。

私たちが平和な世界を築いていくためにできることは、この貴重な経験や学んだことを、友達、学校、家族、地域の方々などに伝え、平和への思いを共有していくことだと思っています。平和な世界を築き、それを存続させていくことが私たちの使命だと思います。